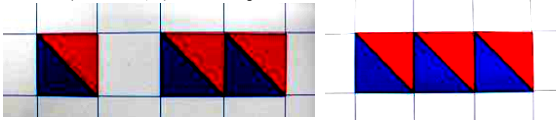
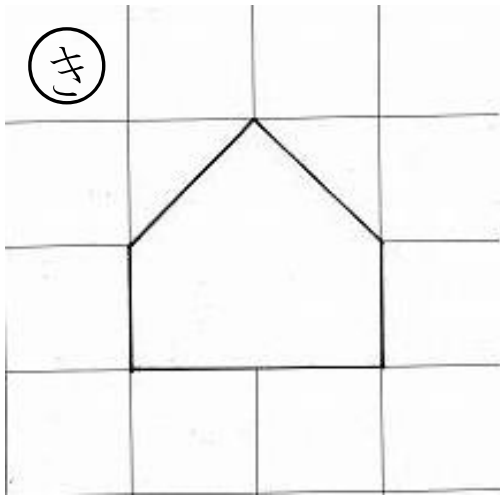
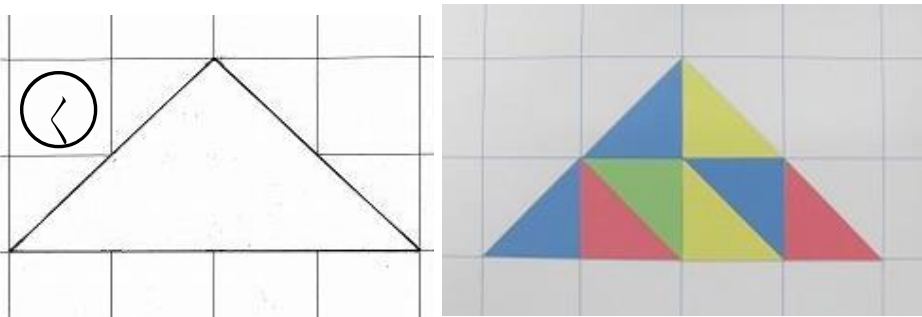
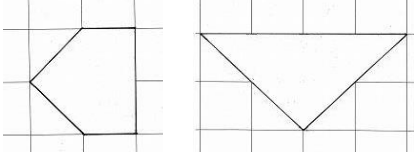


(2) 展開

時 配 (分)	学習活動と内容 ◎発問 ・子どもの反応	子どもに応じた具体的な手立て 支援(○) 評価(☆)				資料
		A児	B児	C児	D児	
見 出 す (10分)	1. 本時の学習内容を知る。 ①ふりかえり ②やってみよう ③みんなでかんがえよう ④れんしゅうもんだい 2. 本時に関わる内容の振り返りをする。 ◎前の学習では、どんな形をつくりましたか？ ・三角と四角 ◎色板の数を増やすと、三角の大きさはどうになりましたか？ ・大きくなる。 ◎四角は色板何枚でつくれますか？ ・2枚 ◎四角の数を増やすと、どんな形になりますか？ ・長い四角 ◎四角の数を増やすと、長い四角はどうなりますか？ ・もっと長い四角になる。  ◎色板の動かし方を確認しましょう。 3. 学習素材を把握する。  4. 本時の学習問題をつくる。 ◎今日は、どんな形をつくるでしょう？ ・いえのかたち ・やまのかたち	○かたちづくりマスターまでの見通しをもつことができるように、単元計画表を提示する。 ○見通しをもって学習に参加できるように、移動黒板に学習の流れを提示する。 ○前時までの内容を振り返ることができるように、移動黒板に掲示物を貼る。 ・色板を使って大きさの違う三角形がつくれることや色板を2枚組み合わせると四角形になることを確認し、掲示する。(教科書㊦) ○前時までの学習を本時で活用できるように、色板の数が増えると、大きさの違う三角形や四角形ができることを振り返る。 ○マス目を生かしてつくるよさを想起させることで、マス目に沿って三角形や四角形をつくるようにする。 ○本時でも活用できるように、色板の動かし方を確認する。 ○本時でつくる形を把握できるように、教科書㊧の影絵を提示し、どんな形か子どもたちに考えられるようにする。 ○影絵を身近なものに例えられるように、風景等を参考にして、影絵が何の形であるか予想できるようにする。 ○学習素材がわかりやすく提示できるように、大型モニターに挿絵を提示する。 ○子どもたちが学習素材を見て、学習問題をつくれるように、学習問題の一部を穴あきにしておくようにする。 いえや やまの かたちは、 どのようにすると つくれるのだろう。				単元計画表 本時の流れ 移動黒板 前時までの内容がわかる掲示物 教科書P105㊧の拡大掲示（大型モニター）
	5. 自力解決に取り組む。 ・教科書㊧の影絵の色板の並べ方を考える。 	○活動に集中できるように、マス目のある板とつくる形の枚数分の色板、影絵のもとになる挿絵を渡す。 ○つくりだすまでに時間がかかる場合には、マス目の上に影絵の形を太線で示したシートやヒントカードとして影絵の一部に補助線を入れたものを提示する。 ○マス目を使って形がつけれるように、声をかける。 ○早くできた場合には、どのように並べたのかを考えるように促す。 ☆マス目を使って、色板の並べ方を考えているか。(観察)	○活動に集中できるように、影絵の形を太線で示したシートが書かれた板、つくる形の枚数分の色板を渡す。 ○つくる形のイメージが沸きやすいように、マス目の上に影絵の形を太線で示し、その中に形をつくるように促す。 ○つくるのが難しい場合には、ヒントカードとして影絵の一部に補助線を入れたものを提示する。 ○早くできた場合には、どのように並べたのかを考えるように促す。 ☆マス目の上に太線で示した影絵について、色板の並べ方を考えているか。(観察)	○活動に集中できるように、影絵の形を太線で示したシートが書かれた板、つくる形の枚数分の色板を渡す。 ○つくる形のイメージが沸きやすいように、マス目の上に影絵の形を太線で示し、その中に形をつくるように促す。 ○つくるのが難しい場合には、ヒントカードとして影絵の一部に補助線を入れたものを提示する。 ☆マス目の上に太線で示した影絵について、色板の並べ方を考えているか。(観察)	○活動に集中できるように、影絵の形を太線で示したシートが書かれた板、つくる形の枚数分の色板を渡す。 ○つくる形のイメージが沸きやすいように、マス目の上に影絵の形を太線で示し、その中に形をつくるように促す。 ○つくるのが難しい場合には、ヒントカードとして影絵の一部に補助線を入れたものを提示する。 ☆マス目の上に太線で示した影絵について、色板の並べ方を考えているか。(観察)	マス目のある板 色板 影絵のもとになる挿絵 ヒントカード
自 分 で 取 り 組 む (5分)						

広 げ 深 め る （ 2 0 分 ）	6. 色板をどのように並べるとよいのかを全体で発表し、共有する。 - 色板の並べ方を発表する。 - 自分の作ったものと比較しながら、発表を聞く。 ◎家のような形は、色板が何枚でつくれますか？ 6枚 ◎この部分はどのように動かしていましたか？ - 色板を組み合わせて、三角をつくっていた。 - 色板を組み合わせて、四角をつくっていた。 ◎AさんとBさんのつくった形をみて、違うところはどこですか？ - 長い四角の向きが違う。		◎並べ方をわかりやすく示して発表できるように、黒板に発表用の大きいマス目用紙や大きな色板を用意しておき、そこに実際に黒板で並べるようにする。 ◎友達の発表をしっかりと聞けるよう、声をかける。 ◎「三角」「四角」「組み合わせる」などの言葉を用いて発表できるように「見出す」の際に扱った、色板の動かし方を示した掲示物を用いながら支援し、子どもなりの表現で伝えるように促す。 ◎自分のつくった形と友達のつくった形を比較して、違うところに気づけるように、発表後に、黒板に並べた色板を見て、友達の並べ方について確認するように促す。 ◎違う並べ方のものを見比べやすいように、意図的に絞っておく。全員が同じ並べ方の場合には、違う並べ方を教師が提示する。 ◎並べ方の違う部分を見つけることが難しい場合には、違うところが焦点化するように、一部分を隠して子どもたちが着目しやすいようにしていく。	発 表 用 の 大 き い マ ス 目 用 紙
	7. もう1つの形の自力解決に取り組み、色板の並べ方を全体で発表し、共有する。 - 教科書㊦の影絵の色板の並べ方を考える。 - 色板の並べ方を発表する。 - 自分の作ったものと比較しながら、発表を聞く。		◎本時でつくる形を把握できるように、教科書の㊦の影絵を提示し、どんな形か子どもたちに考えさせる。 ◎活動に集中できるように、マス目のある板とつくりたい形の枚数分の色板、影絵のもとになる挿絵を渡す。	◎つくる形のイメージが湧きやすいように、マス目の上に影絵の形を太線で示し、その中に形をつくるように促す。 ◎つくるのが難しい場合には、ヒントカードとして影絵の一部に補助線を入れたものを提示したり、教科書㊦の影絵をもとにつくれるように促したりする。
ま と め あ げ る （ 1 0 分 ）	8. まとめをする。 ◎家や山の形をつくるには、色板をどのようにするとつくることができますか？ 三角と四角を組み合わせる。	◎今日の学習が定着しているのかを確かめることができるように、もう一度教科書㊦、㊦をつくる。 ◎つくるのが難しい場合には、ヒントカードとして影絵の一部に補助線を入れたものを提示する。 ◎教科書㊦、㊦が早くつくってしまった場合には、左の例のような教科書㊦、㊦の向きを変えた形をつくるようにする。	◎本時の学習をまとめることができるように、まとめの文章を提示しておき、まとめの一部を穴あきにして、子どもが答えやすくする。 ◎まとめの言葉を考えることが難しい場合には、振り返りで用いた色板の動かし方の掲示物を示すことで、まとめの言葉を考えられるようにする。	ヒ ン ト カ ー ド
	9. 練習問題に取り組む。 - もう一度、教科書㊦、㊦をつくる。 - 子どもの実態に応じて、練習問題に取り組む。 (例) 	☆マス目上に、色板を使って、家や山のような影絵の形をつくることができるか。（観察）	いえや やまの かたちは、 さんかくと しかくを くみあわせると つくることができる。	
10. 次時の活動を知る。 本時と同様の課題を行うことを伝える。		◎次回の活動の見通しがもてるように、本時とは違う形の影絵を色板で並べてつくることを伝える。		